



第27回日本脳神経外科コンgres総会 モーニングセミナー 3-6

# 最新 SPECT 画像

日時

2007年5月20日(日)  
7時00分～8時00分

会場

ホテルメトロポリタン仙台  
3F Room MF  
宮城県仙台市青葉区中央1-1-1

座長

清水 恵司 先生  
高知大学医学部 脳神経外科学

講演1

「最新のSPECT画像解析法の紹介」

水村 直 先生 日本医科大学 放射線科

講演2

「IMZ-SPECTによるてんかん焦点の診断」

増田 浩 先生 西新潟中央病院 脳神経外科

講演3

「特発性正常圧水頭症の脳血流SPECTによる評価」

張 家正 先生 横浜南共済病院 脳神経外科

【共催】

第27回日本脳神経外科コンgres総会  
日本脳神経核医学研究会  
日本メジフィジックス株式会社

 nihon  
medi+physics

# 最新SPECT画像

最近の画像解析法の進歩は目覚しく、特に解剖学的標準化を用いた統計画像解析や自動ROI解析システムの普及によりこれまで困難であった全脳を対象とした脳画像の評価を客観的かつ再現性よく行うことができるようになった。脳血管障害においては局所毎の脳循環障害重症度分類を可能とし、認知症の早期診断や鑑別診断では視覚評価が困難な脳内側面や後頭葉の異常検出に優れ、診断能が飛躍的に向上した。また、てんかん焦点の診断においても従来診断が難しかった側頭葉外てんかんの診断に威力を発揮している。特発性正常圧水頭症では現在、SINPHONI (Study of idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus on Neurological Improvement) が進行中であるが、他の認知症との鑑別やシャント術適応の決定における意義等が検討されている。このセミナーにより脳核医学がさらに進歩、普及することを期待します。

日本脳神経核医学研究会 運営委員長

**桑原 康雄**

About JCNN

## 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

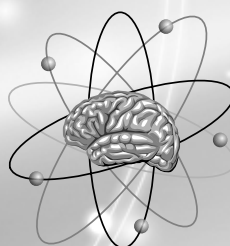
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN